

2019年4月号
Vol. 36

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail kikaku@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
Facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<http://www.cbs.or.jp/>

めざせ！文化芸術マスター ～大学との連携を通して～

財団ではさまざまな形で大学との連携を行っています。県内の大学との協働により多種多様な文化芸術事業を制作しているほか、文化芸術に興味を持つ学生に「インターンシップ」という形で劇場運営の現場を体験してもらうことで、将来の職業選択の一助となるようなお手伝いをしながらアートマネジメント人材の育成に取り組んでいます。

今回はそのような中でご縁の生まれた地域の大学との連携をご紹介します。

国立千葉大学

国立千葉大学の全学共通教養教育である「普遍教育」の中のカリキュラム「伝統芸能をつくる」に財団から講師を派遣。千葉県にゆかりのある伝承や伝説を基に新たな狂言を創る「創作狂言」において、台本作りやチラシ作成、広報をはじめ、舞台の小道具や衣装製作、公演当日のプログラムやロビー展示物の作成など、公演の運営に必要な指導を行っています。



千葉商科大学

千葉商科大学ではサービス創造学科の開催するセミナーに講師として参加し、これから就職活動を始める学生の参考となるよう、財団の仕事や社会的役割、文化会館の業務などについて説明。後日、希望する学生を対象にインターンシップを実施することで、アートマネジメントへの理解をより深める機会となっています。

神田外語大学

東京2020オリンピック・パラリンピックを控え、日本を訪れる外国人の方々に日本の文化を紹介する機会が増えています。外国人のお客様の来場が予想されるイベントでの外国語パンフレットの作成や、通訳として、神田外語大学の学生に協力をいただいています。

千葉県立農業大学校



毎年6月に開催している「若い芽のαコンサート」で舞台を飾る色とりどりの花々。その花を提供してくださっているのが千葉県立農業大学校です。花々と舞台が一番美しく見えるように考えられたレイアウト図面は、まるで編み物の設計図のよう。多くの時間と手のかかる作業をお引き受けくださっています。

淑徳大学

淑徳大学で開設している「地域支援ボランティアセンター」は『実学に打ち込む学生のためにフィールドを用意する』をコンセプトに運営されています。財団でも多くの人々の力を必要とするイベントの際にはボランティア学生の派遣を依頼し、運営スタッフとしてお手伝いいただいています。

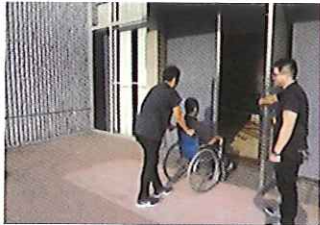
千葉経済大学短期大学部

「ちば文化の森フェスタ（1月26日開催）」における出展を目標として開設された千葉経済大学短期大学部のゼミに、財団職員を企画段階から講師として派遣しました。14名のゼミ生は、提案書の作成、プレゼンテーションやチラシ作りなどを学び、イベント当日は「素敵な贈り物を」と題したブースを展開。

来場したお客様に『ハーバリウム作り』を楽しんでいただきました。



多くの方々がご来館される千葉県文化会館では、全てのお客様に安心してご利用いただけるように様々な取り組みを行っています。その一つが「サービス介助士」資格の取得です。お体が不自由な方や車いすをご利用の方、ご高齢の方など、お手伝いを必要とされる方に積極的にお声かけをし、楽しいひと時を過ごしていただくためのサポートをしています。また「認知症サポーター」として認知症を持つ方への理解を深め、ご来館の方だけでなく地域の安全にもつながる取り組みを行っています。認知症サポーターはオレンジ色のバンドを身に付け、周りの方々に対して認知症に関する正しい知識を伝えたり、できる範囲の手助けをすることで、認知症の方が安心して存在を目指しています。



この他にも、案内表示の多言語表記や翻訳タブレットの導入による訪日外国人への対応、老眼鏡・補聴器の貸し出しなど、お客様が快適にご利用いただける会館を目指しています。

ご来館の際にお困りの事がございましたらお気軽に会館スタッフへお声がけ下さい。

ご来館の際にお困りの事がございましたらお気軽に会館スタッフへお声がけ下さい。



北総四都市文化紀行 ～世界から一番近い江戸～

千葉県東総文化会館

江戸と様々な形で交流・発展した4都市（佐倉市・成田市・香取市・銚子市）と千葉県東総文化会館を舞台に、文化遺産を生かした特色ある文化プログラムを「北総四都市文化紀行」と銘打ち3年にわたり実施しています。

1年目である昨年度は3カ所で開催。成田山書道美術館では弦楽コンサートを開催し、書道とクラシック音楽の融合を味わっていただきました。佐倉市内のショッピングモールでは、日本の伝統芸能である落語を気軽に楽しんでいただき、さらに成田国際空港では、江戸時代から受け継がれている伝統奇術

「和妻」のステージで、来日した外国人の方々に思い出に残るひとときを提供しました。

今年度は、佐原の小野川沿いにある、明治時代に建てられた大土蔵で開催するアコースティックコンサートと、銚子電鉄の貸し切り電車で揺られながら聴くデュオコンサートをお楽しみいただきます。豊かな自然に恵まれ、江戸文化を取り入れて発展した城下町の佐倉市、成田山の門前町・成田市、利根水運の河岸・香取市、漁港・港町の銚子市。

2020年のオリンピックイヤーに向けて、ぜひ北総四都市を巡り、江戸情緒を体感しながら風情ある千葉の魅力を感じてください。



貴重な経験の数々～東京公演を終えて～

千葉県少年少女オーケストラ



3月24日（日）、桜ほころぶ赤坂・サントリーホールで「東京公演」を行いました。「世界一美しい響きのホール」をコンセプトに作られたとても素晴らしいホールで演奏できることに、団員達はとても感動していました。

日本を代表する指揮者・井上道義さん、ピアニスト・小曾根真さんとの共演も一生忘れることのない貴重な経験となりました。

また3月29日（金）にはテレビ朝日の「題名のない音楽会」の公開収録に参加しました。「東京公演」と同じ演目・出演者で、テレビ番組ならではの演出をしておりますので、こちらも是非ご覧ください。

ご来場いただきました多くの皆さま、ありがとうございました。

テレビ朝日「題名のない音楽会」

放映予定日：6月8日（土）・6月15日（土） あさ10時～

※収録の様子は2週続けての放送となります。

※地域によって放送日時が異なる場合があります。

編集後記

平成最後の「財団NEWS」いかがでしたか。今回は「大学との連携」を特集しましたが、他にも中学生が「職場体験」として訪れることもあります。想像が難しい「文化を無形のカタチにする」この仕事を「面白い」と感じてもらえるよう私たちが精一杯お手伝いしています。

◇そのほかの財団の事業や公演についての詳細は財団HPをご覧ください◇

<http://www.cbs.or.jp/>